

2015 年度

ロシア留学報告書

実習先：ウラジオストク国立経済大学

実習期間：8月30日（火）～12月6日（火）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015052
齋藤優里愛

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	6
	謝辞	6

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：ウラジオストク国立経済大学

研修期間：平成 27 年 8 月 30 日（火）～平成 27 年 12 月 6 日（土）

2 研修先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済大学は 1967 年に開学しました。中央キャンパスはウラジオストク市の市内中心部に位置しています。8 つの学部を擁し、学生数は 1 万 5000 人を数え、博士課程は 4 年間です。法科大学院、修士課程、博士課程に進学し、さらに高度な専門教育を受けることもできます。学内には複合スポーツ施設と芸術スタジオシアターがあります。また、屋内温室庭園や学生用のカフェ・食堂がある。大学専用の学生寮は 1200 名収容で、ロシア国内出身の学生と外国人留学生が居住しています。

(2)大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済大学は、ウラジオストクにおける最高水準のひとつであり、ロシア連邦教育省からいくつもの賞を受けています。ロシア国内全体の大学格付けでは 550 大学中の 63 位であり、サービス業の専門家を要請する大学の格付けでは全国 1 位です。ウラジオストク国立経済大学は諸外国の大学と提携しています。また、アメリカ、ニュージーランド、中国の複数の大学と連携し、卒業時に 2 つの大学から同時に学士学位を取得できる共同学位プログラムを実施しています。

3 研修目的

今回の研修の目的は、ロシア語の能力を確実に上げることである。1 年後期から開始したロシア語の講義は、2 年前期までは週に 3 回であったが、2 年後期からは週に 2 回に減少することや、このまま日本でロシア語の学習を続けていても日常会話すらままならない状態ではないかと感じた。現にロシア語話者やロシア語学修者が身のまわりにも少なく、会話をするにしても先生かクラスメートとの会話でありあくまで授業の延長線上になってしまう。留学をすることで、国籍の異なるロシア語初学者同士と会話をし、言語の学習法を探るきっかけとなると考えたからだ。また授業がすべてロシア語で行われるため、語彙を推測し、勉強を進めることでさらに力を伸ばせると考えたからである。

また、ロシアの文化をさらに知り実際に体験することである。ロシアの文化といっても食や芸術は現代社会ではインターネット検索により知ることはできるが、日常生活を送ることや芸術に触れることは現地に行かなければ難しい。そのためウラジオストクへ行き、ロシアの中でも極東の文化や生活様式を見て感じ、実際にその中で生活することが最も自文化と比較し考えることができると考えたからである。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	30 (木)		到着、入寮
9	1 (火)	クラス分けテスト	オリエンテーション
	5 (月) ~ 9 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
	10 (土)	ペリメニ作り	映画祭見学
	12 (月) ~ 16 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
	19 (月) ~ 22 (木)	留学生クラス	NUIS クラス
	23 (金)	遠足	
	25 (土)	トラの日	
	26 (月) ~ 30 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
10	3 (月) ~ 7 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
	10 (月) ~ 13 (木)	留学生クラス	NUIS クラス
	14 (金)	スポーツ大会	開会式
	16 (日)		閉会式
	17 (月) ~ 21 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
	21 (金)	ハバロフスク旅行	
	22 (土)		
	23 (日)		
	24 (月) ~ 28 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
31 (月)			
11	1 (火) ~ 3 (木)	留学生クラス	NUIS クラス
	7 (月) ~ 11 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
	14 (月)	留学生クラス	NUIS クラス、芸術鑑賞
	15 (火) ~ 18 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
	19 (土)		芸術鑑賞
	21 (月) ~ 25 (金)	留学生クラス	NUIS クラス
	27 (日)		芸術鑑賞
	28 (月)	留学生クラス	NUIS クラス
	29 (火)	短編映画撮影	ボルシチ作り

	30 (水)	短編映画撮影	NUIS クラス
12	1 (木)	留学生クラス	日程変更説明、NUIS クラス、
	2 (金)	留学生クラス	テスト、芸術鑑賞
	3 (土)		映画鑑賞
	5 (月)	留学生クラス	修了式、お別れ会
	6 (火)		帰国

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 留学生クラス

1コマ90分、月曜から金曜まで1日2コマの授業であった。授業内容は文法、スピーキング、リスニング、文章読解、会話練習であった。留学生クラスで、ウラジオストク国立経済サービス大学に同じように留学をしている人たちと合同のクラスであり、主に韓国人、中国人、アメリカ人そして日本人で構成されたクラスであった。

ii) NUIS クラス

新潟国際情報大学の留学生のみのクラスで、月曜は美術、火曜は音楽、水曜は各週で文章読解、木曜は地理、金曜は歴史の授業が行われた。

iii) 遠足

留学生学部の1年生が公共交通機関のバスと電車を乗り継ぎ、海浜公園へ行き学生間の仲を深めることを目的としたイベントであった。20人程度のグループごとにロシア人の学生2～3人が一緒に行動し、電車の乗り方からアクティビティの説明まで補助をしてくれた。

iv) トラの日

絶滅危惧種に指定されているアムールトラを守ろうということを目的としたウラジオストク市のお祭りで、パレードが行われる他、顔にトラのペイントをすることができた。

v) スポーツ大会

10月13日から16日まで行われたウラジオストク市の大学の留学生が対象のスポーツ大会であった。バレーボール、水泳、サッカー、卓球、バドミントン、バスケットボールが大学対抗で競われた。それに伴い、美術の授業で応援用のプラカードの制作も行った。

vi) ハバロフスク旅行

夜行列車に片道12時間乗り、極東最大の都市であるハバロフスクへ行き観光をした。博物

館を見学し、マトリョーシカの絵付け体験をし、ガイドさんから極東の歴史についてお話をいただいた。

vii)芸術鑑賞

11月17日は中国の西安から来たオーケストラの鑑賞、同月19日にはバレエ『くるみ割り人形』27日に『火の鳥』の鑑賞を、さらに12月2日にはオペラ『カルメン』を鑑賞した。

viii)修了式、お別れ会

帰国日の変更のため急遽行われたが、留学を振り返るスライドや、修了証そしてお土産が手渡された。その後のお別れ会では学部長や先生とお茶をし、最後の楽しい時間を過ごした。

5 所感

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)ロシア語の能力を向上させる

この報告書を執筆している現時点で、ロシア語に関する試験を受験できていない。しかし留学当初は先生の話を理解することもままならなかったが、授業を受け生活をしていくうちに聞き取ることや、文書上でロシア人と交流することができるように実力の伸びを確認することができた。今後は、それに満足せず、ロシア語の勉強を継続していく必要がある。

ii)ロシア文化を知り、体験する

留学期間中に生活することで文化を知ることは大いにできた。料理や生活習慣といった一般的な文化から、バレエやオペラといった芸術文化に関しても身をもって鑑賞、体験できた。また、ロシアの文化だけでなく、韓国人が寮の同室であったこともあり、韓国文化についても学ぶことができた。

6 おわりに

四ヶ月であった予定が三ヶ月と少しという短い留学であったが、非常に多くのことを学ぶことができ、有意義な研修となった。

今回の留学で学んだことを今回きりで終わりにせず、これからもロシア語やロシア文化についての勉強を続けていきたい。さらに、異文化に対する理解を深め、様々な物事を世界的な視点から考えることを大切にしていきたい。

謝辞

今回、ウラジオストク国立経済大学にて懇切丁寧な指導をしてくださったユリヤ・ラダエバ先生、スベトラーナ・キャリアキナ先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学のロシア留学担当で2016年度前期の授業、ロシア留学の現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、神長英輔先生、プラーソル・アレクサンドル先生には心より感謝いたします。最後に、本留学が新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

8月30日 火曜日 午前
出発 0644 燕三条駅
内容
<ul style="list-style-type: none"> ・燕三条駅から東京駅まで新幹線で移動、 ・成田空港まで電車で移動 神長先生と合流 ・成田空港からウラジオストク空港まで飛行機で移動、入国審査 ・ウラジオストク空港からウラジオストク国立経済サービス大学へバスで移動

移動の所感

飛行機で約2時間の移動は短いものであったが日本に台風が近づいていたため、飛行機が飛ぶか不安なものであった。しかし、入国審査の時には皆元気であった。明日から始まる授業や様々な活動を頑張っていきたい。

8月31日 水曜日
オリエンテーション
担当 アレクサンドル・プラーソル、ユリヤ・ラダエバ
研修内容

- ・オリエンテーション
- ・学生寮の規則
- ・重要な連絡先について
- ・今後の予定について

オリエンテーションの内容

大学の国際部の方を交えて、授業の時間割やロシア生活や大学生活で注意すべき点について説明があった。授業開始までにすべきことや、今後の日程などの説明がされた。

9月1日 火曜日 午前
クラス分けテスト 教室名 5506
クラス教員名 スベトラーナ・カリーキナ
<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア語長文を読み10問の4択問題を解く ・100問の文法を中心とした問題を解く

クラス分けテストの所感

基本文法がすべて含まれたテストであったため、難易度がとても高かった。留学で最も頭を使った出来事であったと感じる。

月曜日 0830 - 1000 、 水曜日 0830 - 1000 、 木曜日 1010 - 1140
(文法) 教室名 5515
クラス教員名 ヴィクトリヤ・ヴァレーリエブナ
授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・格変化を中心とした文法の解説と演習 ・格変化は第1文型、第6文型、第4文型、第3文型、第2文型、第5文型の順に授業が進められた。

授業の感想

言語の基本となる文法のため、一週間で最も授業回数が多かった。毎回授業の後半には5点満点の小テストが実施され、それによって授業点が決定されていた。宿題はテキストの問題演習のほかに「自分の○○」とテーマといったことについてのパワーポイントを用いた発表や、手紙を実際に送ることなど様々なことを行った。

月曜日 1010 - 1140 、 水曜日 1010 - 1140
(話す) 教室名 月曜 5617、水曜 5515
クラス教員名 アルビーナ・ブラジミロブナ
授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・テキストを用いて正しいロシア語のイントネーションで話す方法を学ぶ ・単語の語尾変化の特殊形の用法

授業の感想

テキストをもとに授業を進めるが、必要な箇所はウラジオストクで留学生にも使いやすいフレーズに変化させて演習を行ったため、すぐに使えるものが多かった。母国語なまりのロシア語にならないような会話の練習が多くなされた。

火曜日 0830 - 1000 、 金曜日 1010 - 1140
(聞く) 教室名 月曜 5515、水曜 5513a
クラス教員名 インナ・アレクサンドロブナ
授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・音声テキストを聞き、リピートやテキストに関する問題演習を行う ・短編アニメの聞き取り

授業の感想

聞き取りの難しい音が多く含まれた音声テキストを用いて場面ごとに使用される単語やフレーズを正しい発音で学ぶことができた。ゲーム形式で授業を進めるため、楽しく発言のしやすい雰囲気での授業であった。

火曜日 1010 - 1140
(会話練習) 教室名 5515
クラス教員名 スベトラーナ・ブラジミロブナ
授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・週ごとに場面に沿った単語やフレーズを学び、それを使って2人一組でお題に沿った会話を考え演じる ・前回の重要単語・フレーズの確認テスト

授業の感想

留学生クラスの授業の中で最も応用的で実践型の授業であった。天気、電話、病気などテーマは様々で、最後にはテーマに応じた場面を考え発表することがとても難しかった。しかし、先生が難しい表現を簡単なものに置き換えた表現を助言してくれたりしたため一回の内容量が多い授業であった。

木曜日 0830 - 1000 、 金曜日 0830 - 1000
(読む) 教室名 5621
クラス教員名 オリガ・バレリエーブナ
授業内容 ・長文テキストの読解 ・早口言葉

授業の感想

長文読解が主な授業内容であったが、その中に出てくる単語を使ってユニークな例文を考えることや、早口言葉をどれだけ正確に早く言えるかなど、宿題は単純作業ではないものしか出されなかった。テキストは留学生向けの物から、中学生が社会の授業で使うものまでさまざまであった。

月曜日 1330-1500
(美術) 教室名 5515 又は 5513a
クラス教員名 スベトラーナ・ブラジーミロブナ
授業内容 ・ロシアに関する題材の模写 ・お守りの制作 ・スポーツ大会の応援ポスター制作 ・折り紙の作成

授業の感想

ロシアの有名な民芸品や絵画の歴史等を学び、その後に鉛筆と水彩えのぐを使って模写をしたりパズルをするなどでロシア芸術に触れるものであった。イベントの前後になると、そのイベントに関連した作品を作り楽しい雰囲気であった。

火曜日 1330-1500
(音楽) 教室名 5506
クラス教員名 スベトラーナ・ブラジミロブナ
授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア音楽史や著名な音楽家、伝統楽器について学ぶ ・ロシア民謡を歌い、演奏する

授業の感想

ロシアの民謡や現代音楽など様々な音楽を鑑賞し、実際に歌ってみることが主な授業内容であった。それらは12月の中旬に予定されていた留学生のクリスマスパーティに向けて9月から準備していたものであった。帰国が早まったことによりクリスマスパーティには参加ができなかったことがとても残念であった。

水曜日 1330-1500 (各週)
(読む) 教室名 5506
クラス教員名 オリガ・バレリエーブナ
授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・長文テキストの読解 ・詩の朗読

授業の感想

NUISクラスの読解の授業のため、課題のテキストは少し簡単であった。詩はイントネーションをつける練習で、強弱の付け方が弱い日本人にとっては難しいものであった。しかし、先生はそれを理解したうえで授業を進めてくれるため、とても勉強がやりやすかった。

木曜日 1330-1500
(地理) 教室名 5506
クラス教員名 オリガ・バレリエーブナ

授業内容

- | |
|----------------------------|
| ・ロシアの土地や人口などの概要から極東ロシアについて |
|----------------------------|

授業の感想

ロシアの国旗や紋章など一般的な概要から始まり授業回数を重ねるたびに産業や工業、さらには極東ロシアのことについて学んだ。定期的に小テストが実施され、それによって理解度の把握をすることで授業のスピードや説明がさらに補足されていったのでとてもわかりやすかった。

金曜日 1330-1500

(歴史) 教室名 5506

クラス教員名 エカチェリーナ・ユーリエブナ

授業内容

- | |
|-----------|
| ・ロシア史について |
|-----------|

授業の感想

ロシアの始まりからだんだんと現代史についてと授業が進んだ。授業の最後には重要単語をまとめるため、ポイントが一目でわかるように工夫された授業になっていた。地理との関連性も説明してもらえたため、繰り返して学習するきっかけにもなった。

11月29・30日 0900-1230

短編映画撮影 教室名 5512 3334

担当者名 リューバ・チュパキーナ

内容

- | |
|-------------------|
| ・留学生によるパロディー映画の撮影 |
|-------------------|

映画撮影の所感

留学生学部の学長から推薦された留学生の一部による短編映画の撮影が行われた。これは完成するとモスクワの学生映画祭に出品されるとのことであった。民族衣装を身にまとい激しいダンスをする役であったため、着物でのダンスはとても大変であった。

12月1日 1150-1215

日程変更説明	教室名 5512
担当者名	ユリヤ・ラダエバ
内容	・帰国日と今後の日程の変更の説明

所感

大学からロシア当局からビザの延長ができなくなり、5日後に緊急帰国をすることが告げられた。1週間ほど前から先生たちの動きがおかしいとは感じていたもののこのような事態になるとは考えていなかった。この時は現状の把握ができず、ただ泣くことしかできなかった。今後このような事態が起きないようにしてほしい。

12月2日	1330-1500
テスト	教室名 5506
担当者名	スベトラーナ・ブラジーミロブナ、エカチェリーナ・ユーリエブナ
テスト内容	・美術、音楽、文法、文章読解、地理、歴史

所感

前日に緊急帰国とテストの実施を告げられたため帰国の準備でテスト勉強が全くできなかった。しかし、テストもその状況を考慮されたものになっていたのでとても簡単であった。授業の1コマ分ですべてのテストを終えたため、不完全燃焼という言葉がピッタリと当てはまるようなテストであった。

12月5日	1330-1500
修了式・お別れ会	教室名 5513 5512
担当者名	スベトラーナ・ブラジーミロブナ
内容	・修了証の授与 ・留学の振り返り ・お別れ会

所感

緊急であったため、とても簡素なものであった。NUISからの留学生は勉強熱心で学

力が大幅に控除していたと褒めてくださったが、それは先生方の熱心な指導の賜だと心から感じた。学部長と文法の先生からまた、ウラジオストク国立経済サービス大学に来てくれと言っていただき、日本に帰国後も絶対にロシア語学習を怠ってはいけないと感じた。

12月6日
帰国
内容
<ul style="list-style-type: none">・退寮の手続き・ウラジオストク国立経済サービス大学からバスでウラジオストク空港に移動・出国審査 ウラジオストク空港から成田空港まで飛行機で移動・上野駅まで電車で移動・上野駅から燕三条駅まで新幹線で移動

所感

留学最終日であったにもかかわらず、帰国する実感が全く湧かなかった。日本に着いてからやっと現実を受け止めることができた。帰国が決まってから忙しい日々が続いていたため、それがどこか懐かしく感じられた。





